

放課後等デイサービス 支援プログラム

法人理念	<p>1. 私たちは、賀川豊彦の思想と実践（キリスト精神）を継承し、神と人に仕える仕事をします。</p> <p>2. 私たちは、一人ひとりの人格を尊重し、その成長を支援します。</p> <p>3. 私たちは、常に利用者の立場に立って、そのニーズに応え、サービスの向上に努めます。</p> <p>4. 私たちは、地域社会の福祉課題を積極的に掘り起こし、それに取り組みます。</p>		
支援方針	<p>◎自由時間や活動を通して、“小集団での活動や課題に取り組む姿勢を身につける”“職員や友達とコミュニケーションをとりながら、安定した人との関わりを作っていく”ことをねらい、一人ひとりに合わせた支援を提供します。</p> <p>◎安心して過ごせる居場所となるよう、お子様の気持ちを受け止めて信頼関係を築きます。</p> <p>◎きらりでの経験が学校や家庭（=大半の時間を過ごす場所）での過ごしやすさに少しでもつながるように、保護者の方と一緒に考えていきます。</p>		
提供時間	14:00～18:00	送迎の有無	無し
本人支援の内容と5領域の関連性	別紙参照		
家族支援	<p>◎毎日の送迎や年3回の面談時、家族からの相談に応じ、適切な助言を行います。</p> <p>◎生活の様子や取り組み方、環境設定など具体的な方法についてご家庭と共有し、お子様についての理解を深め、ご家庭での取り組みにつなげます。</p> <p>◎センター機能を活かし、必要に応じて専門相談を案内するとともに、市民向け講演会や保護者学習会等の案内を積極的に周知し、学びの機会を提供します。</p> <p>◎お子様の状況やご家庭の状況（保護者の精神面、家族関係、虐待等）の課題に応じて、医療機関やこども家庭センター等、関係機関との連携を図ります。</p>		
移行支援	<p>◎行事等を通して様々なことを体験する機会を提供します。公共のマナーなども含めた事前学習を行います。</p> <p>◎お子様の成長・発達、興味に適した学習環境や習い事・居場所を一緒に考えます。</p> <p>◎センター機能を活かし、利用終了後にも必要に応じて相談支援を行います。</p>		
地域支援 地域連携	<p>◎他の機関で訓練等を利用している場合には保護者と様子を共有し、支援に生かします。</p> <p>◎活動や行事の中で地域の資源を利用する等、地域の方々と関わる機会を作ります。</p> <p>◎地域の関係機関の取り組みを知り、支援に活かしていくため、見学等を積極的に行います。</p> <p>◎地域の方々が子どもの発達についての知識を深められるよう、センターとして市民向け講演会や支援者研修を開催します。</p>		
職員の質の向上に資する取り組み	<p>◎虐待防止・身体拘束廃止・保健(怪我、発作、アレルギー、誤嚥などの対応の仕方等)・防災(災害時の対応等)・感染症対策(嘔吐処理や感染症に関する基礎知識等)・食中毒対策等の内部研修を実施します。</p> <p>◎外部研修等を活用することで職員一人一人が広い視野を持ち、発達支援や家族支援の知識を深めるよう努めます。</p> <p>◎支援計画担当者会議やケース会議を通して、職員の共通理解を深め、協力してより良い支援に向けての改善に努めます。</p> <p>◎必要に応じて専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士)と連携し、療育の質の向上に努めます。</p> <p>◎日常的に職員同士がコミュニケーションを取り、学び合える環境を作ります。</p>		
主な行事例	◎季節に合わせた行事(七夕・ハロウィン・クリスマス等)、外出(ボウリング・買い物等)、おわかれ会、保護者面談		